

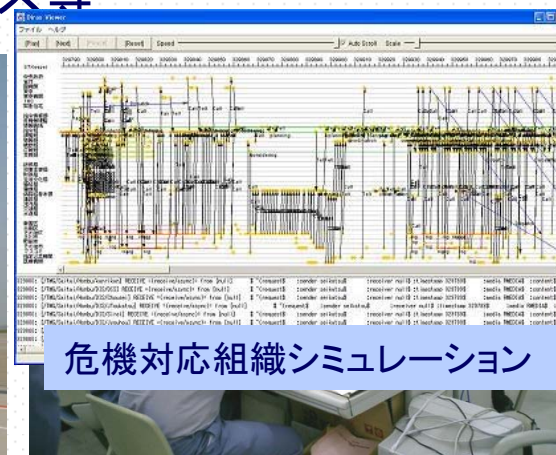
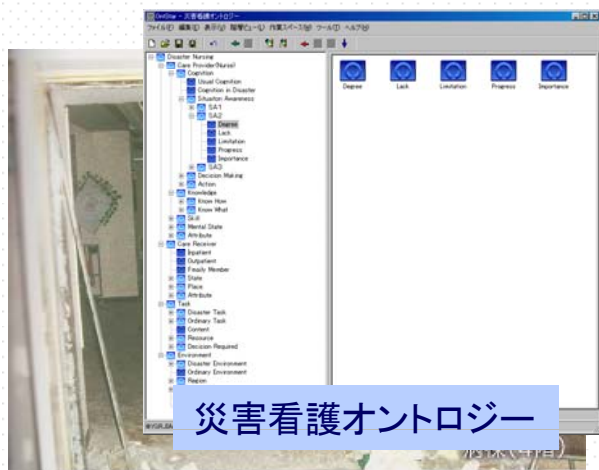
# 自己紹介

## □ 菅野太郎（カンノタロウ）

- 1973年生
- 山口県出身
- 蠍座，AB型
- バスケ

## □ 工学におけるヒトに関する研究

- 行動観察・分析，ヒューマンモデリング，シミュレーション，システム開発
- 災害看護サービス，危機対応，航空管制，医療サービス等



# シミュレーション・数理社会デザインコースの学生像

## □ SIMに決めた理由

- コテコテの工学や理学に興味がなかった。SIMIには、ソフトっぽいイメージがあり、そこに魅力を感じた
- 大学に入ってから、政治問題や経済問題などの人間に関係した分野にも強い興味がある事に気づき、経済や国際政治、進化論などの講義にハマった
- 工学的な知識や考え方をバックボーンとして、人文系の課題(と従来思われていたもの)に取り組みたい
- シミュレーションというものの汎用性
- 大きな興味は交通関係(鉄道、船舶、航空...)、他の興味は組織、指揮命令の効率的な方法や作戦や企画立案、遂行のやり方、あと運用計画、最適化などの計画に関する学問

## □ 進学の際の悩み

- 去年まで直系の大学院がなかった
- 理2から行くことに不利益はないか
- プログラミングできない...
- この学科をでて何が身につくのか、具体的なイメージが持ちにくい

## □ SIMイマイチ

- グループにおけるプロジェクトの進行法を学ぶ機会をもう少し増やしてほしい
- プログラミングやシミュレーションの実習が期待していたより少ない
- 就職や進学についての情報提供がもっとあれば助かります



# 学生像つづき

## □ SIMのウリ

- 研究内容が非常に多岐分野にわたっているので、将来からず自分のやりたいことがみつかるとは必ずしも保証されず
- 基礎学問を学べつつも、将来の研究分野や職種をある程度自己選択する余地がある学科はあまりない
- シミュレーションは幅広い分野で用いられているので、様々な分野についての知識が得られる点

## □ 駒場生へメッセージ

- イメージと実際が異なることが結構あります。できるだけ情報収集を
- 先輩の話積極的に聞くことをお勧めします。良いところだけでなく悪いところも聞けます
- 研究室の展示に行くもよし
- 進振りだけは時間をかけて悩み抜いて決断してください
- 自分が何をしたいのかよく考えると決断しやすい。急に考えても分からないことなので、普段から考えるくせをつけておくが良い。
- システムといってもよく分からないので。要はシス創のSIMコースはコンピュータを通じて物理現象とか社会とかを再現したり考えたりするコースです。まあパソコン好きでシムシティとかフライトシミュレーションとか好きな人なら最適だと思います。



- つかみどころはなくても新しい方向に踏み込む度胸
- なにか自分でやりたい
- “シミュレーション”の可能性, クールさに惹かれる
- 脱領域, 分野横断的志向
- 理系である誇り, コアスキル
- 社会の役に立ちたい



SIMコース3年生@五月祭

